

「侵略やめろ!」

ロシアは即時撤退せよ 核の「威嚇」に断固抗議

国際社会が、ロシアのウクライナ侵略反対の一点で団結し、侵略をやめさせることを呼びかけました。プーチン大統領が核兵器で威嚇したことに対



街頭に立つにひそうへい参院比例候補(左)=27日

抗議の緊急声明

日本共産党の志位和夫委員長はただちに緊急声明を発表。「国連憲章、国際法を踏みにじる侵略行為であり、断固糾弾する。ただちに軍事行動をやめ、撤退させることを強く求める。国際社会が、ロシアのウクライナ侵略反対の一点で団結し、侵略をやめさせることを呼びかけました。プーチン大統領が核兵器で威嚇したことに対

しては「決して許されるものではなく、怒りを込めて糾弾する」と強調しました。

反戦の声広がる

日本や世界の各地で「戦争反対」の声が広がり、ロシア国内では多くの市民が弾圧を受けながらも反戦デモに立ち上がっています。

一方、自民党、維新の会の一部議員などは憲法9条や国連を無力だとあざ笑い、危機に乗じて軍拡を狙う卑劣な企みを見せています。

安倍元首相はプーチン大統領の侵略行為を擁護しておきながら、アメリカの核兵器を日本が共有することを議論すべきと主張。維新代表も「非核三原則は昭和の価値観」と同調しました。

「戦争しない」と誓った憲法9条を攻撃し、敵基地攻撃能力や核兵器まで持とうという「力の論理」は、まさに「プーチンの論理」であり、日本を再び侵略国家にしようとするものです。

平和憲法を持つ国として世界の恒久平和を追求し、唯一の戦争被爆国として核兵器禁止条約に参加し「決して使用するな」と訴えることこそ日本の責務です。

福山からも声をあげよう



福山市内でも様々な抗議活動が行われています。日本共産党の各地域支部はすぐに街頭での訴えを始めました。28日には、日本共産党市議団など20人が福山駅前街頭宣伝に参加しました(写真)。同日は、福山医療生協の職員や組合員30人も診療所の前でスタンディングし、プラカードを掲げ、リレートークで訴えました。

日本共産党福山市議団のホームページをご覧ください。f-jcp で検索すれば、ご覧になれます

「戦争反対」と掲げる中村たかえ
参院広島選挙区候補 2月25日

福山民報

福山民報社
福山市津之郷町
津之郷 970-1
Tel.084-952-2662
FAX084-952-2660

